

東北森林管理局

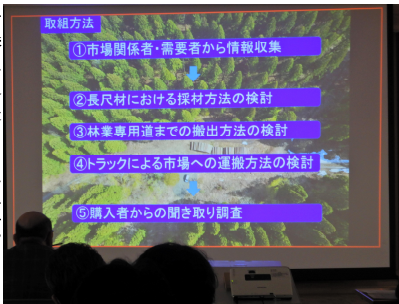
山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和5年度森林・林業技術交流発表会が開催されました。】

前森スギの発表の一幕。



前森スギ発表スライドです。



無人航空機の発表の一幕。



【1月31日（水）・2月1日（木）】2日間にわたり、東北森林管理局大会議室を会場に令和5年度森林・林業技術交流発表会が開催されました。

この交流発表会は、森林・林業・木材産業の活性化を推進するための情報提供・意見交換を行い、関係者の技術の普及・向上、さらには交流の推進を目的として毎年開催されています。

今年度は、森林管理局・森林管理署をはじめ、県、市町村、大学等が参加し、一般の部の森林技術、森林ふれあい・地域連携、森林保全の3部門と中学・高等学校の部の4部門で全41課題が発表されました。

最上支署からは森林技術部門で、高齢級国有林高品質材「**高国**前森スギ」供給2年目の取組と、無人航空機の技術者養成と署内及び林業関係者への支援体制の構築についての2課題を発表したところです。

そのうち、高齢級国有林高品質材「**高国**前森スギ」供給2年目の取組の発表は、奨励賞をいただくことができました。

森林・林業技術交流発表会の審査結果等については、東北森林管理局HPにアップロードされていますので、発表内容や審査結果が気になりましたら閲覧してみてくださいはいかがでしょうか。

※東北森林管理局HPでキーワード「技術交流発表会」で検索していただくと、すぐに見つかります。

【令和5年度山形県フォレスター連絡会議が開催されました。】

最上地域で確認したクマの皮剥。



被害木には無数の歯形が。



【2月28日（水）】山形県森林研究研修センターを会場に令和5年度山形県フォレスター連絡会議が開催されました。

この会議は、国有林と民有林の林業技術者が、市町村等に対して適切な指導・助言を行っていくための情報交換や研鑽の場となることを目的としています。

今年度のテーマはクマ被害対策に焦点があてられ、森林総合研究所東北支所より「ツキノワグマの生態と大量出没」について講演がありました。

また、山形県内で発生しているクマの皮剥ぎ被害に関する対策についても、山形県森林研究研修センターと置賜森林管理署から事例発表がされたところです。

クマ出没が報道される機会が多いこの頃、ツキノワグマとの向き合い方を考えさせられる会議となりました。

山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林